

[効果的な省エネ技術と多年生植物利用による冬季花き生産の安定化]

早春出荷を目指した多年生花きの選定

山本陽平・岡澤立夫

(園芸技術科)

【要約】耐寒性を有する多年生花き 24 種のうち、オダマキ「テキーラサンライズ」を始めとする 9 種が、早春開花性および観賞性での評価が高く、有望である。

【目的】

現状、花きの早春（2～3月）出荷は、高単価を期待できるにも関わらず、暖房費コストが高く、都内生産者の取組みは少ない現状にある。耐寒性を有する多年生花きは、低コストでの早春出荷が可能であるが、国内の種苗メーカーによる取扱量が少ない上に、開花特性に対する知見も十分に得られていないため、生産量が少ない状況にある。そこで、早春出荷が可能な多年生花きの選定に向け、低い加温または無加温で早春開花性が見込まれる多年生花き栽培し、早春開花性および高い観賞性を持つ花きを明らかにする。

【方法】

耐寒性を有し、早春開花が見込まれる多年生花き 24 種類を購入し（鉢サイズ 9 cm～10.5cm）、2017 年 11 月 1 日に、30cm 四方に一株植えで無加温露地定植および 8℃加温でのガラスハウス栽培を行った。開花調査は、2017 年 12 月 27 日から 2018 年 6 月 1 日にかけて 1 週間おきに目測により実施した。2～3月に開花した早春開花性を有する種類を対象に、栽培を担当した職員による観賞性評価を行った。

【成果の概要】

1. 全 24 種類中、2～3月にハウスでの開花が確認されたのは 16 種類であった（表 1、温室開花）。一方で、無加温での露地開花については、2 月中に開花した花きはなく、ペロニカ「オックスフォードブルー」をはじめとする 6 種類が、3月に開花した（表 1、露地開花）。試験期間中 11 月後半から 2 月にかけて、例年と比較して気温の低い日が続いた（図 1）ことが、露地栽培で 2 月に開花が生じなかった一因とも考えられる。
2. 早春開花を示した 16 種類で、平均点が 3.0 以上を獲得したのは、オダマキ「テキーラサンライズ」を始めとする 9 種類であった（表 1、観賞性評価）。これらを、低い加温による早春出荷が可能かつ高い観賞性を示す有望種とした。

【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 今回用いた宿根草は、東京都での夏越しについての知見が不足している。今後、有望種とした種類については、夏越しさせた上で、翌春の開花特性および再度の観賞性評価を行う。併せて、8℃より低い加温条件下での開花特性調査も行う予定である。
2. オダマキは、今回供試した全ての品種が早春開花性を示し、観賞性も高評価を得た。有望な品目であると考えられるため、今後、更なる調査を行っていく。

表1 開花特性および観賞性評価

品目	品種	温室開花始め ^a	露地開花始め ^b	早春開花性 ^c	観賞性評価 ^d	有望 ^e
ジーアム・リヴァーレ	アルバム	12/27	3/13	○	1.9	
ベロニカ	オックスフォードブル-	12/27	3/13	○	4.0	○
ベロニカ	マダムマルシア	12/27	3/13	○	3.1	○
アジュガ	チョコレートチップ	12/27	4/19	○	2.1	
リナリア	リップルストーン	12/27	4/19	○	3.7	○
オブリエチア ・デルトイデア	バリエガータ	1/10	4/19	○	3.4	○
プリムラ ・ブルガリス		1/24	3/13	○	2.4	
エロディウム	ペラルゴニフォーラム	1/24	4/19	○	3.0	○
リクニス	フロスククリピンク	1/24	4/19	○	2.9	
雲南サクラソウ		2/7	3/13	○	2.1	
プリムラ	グリーンレース	3/1	4/19	○	1.4	
オルレア	グランディフローラ	3/1	4/26	○	3.0	○
オダマキ	ローズバロー	3/13	4/26	○	4.1	○
セントランサス	スノークラウド	3/13	4/26	○	2.3	
オダマキ	テキーラサンライズ	3/13	5/1	○	4.4	○
オダマキ	ブルーバロー	3/22	4/19	○	4.1	○
サボナリア	オキモイデス	4/19	4/19			
フロックス	シアウッドパープル	4/19	4/19			
セントランサス	コッキネウス	4/19	4/26			
ゲウム		4/19	5/1			
ジキタリス	シルバーフォックス	4/19	5/1			
アネモネ	マルチフィダルブラ	5/18	4/26			
ブルサティラ ・ブルガリス	ローズ	開花せず	3/13			
サボナリア	スノーチップ	開花せず	4/19			

a) 8℃加温のガラスハウス栽培で始めて開花が観察された日付を示す。b) 無加温の露地栽培で始めて開花が観察された日付を示す。c) 温室開花で、2～3月に開花した種類について、早春開花性を有すると評価した。d) 早春開花性を示した花きについて、期間中の観賞性を評価した（1:悪い, 2:やや悪い, 3:普通, 4:やや良い, 5:良い）。e) 観賞性評価で平均3.0点以上のものを有望とした。

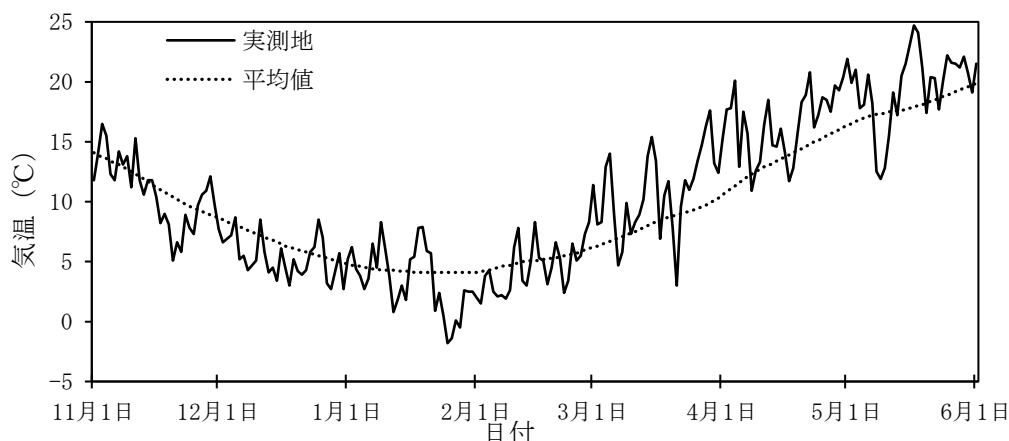


図1 試験期間中の気温と平均気温との比較

注) 平均気温は、気象庁による府中市のデータを基に作成（1981年～2010年）



図2 今回供試したオダマキ

左:ローズバロー 中央:テキーラサンライズ 右:ブルーバロー